

生涯学習係 ～これからの地域と学校の連携・協働に向けて～

第3期群馬県教育振興基本計画（取組38）には、「学校・地域の連携・協働による地域の活性化」として「個々の活動に携わる人たちが互いに情報を共有するとともに、目標や方向性について意見を出し合うなど、地域全体で子どもたちを育てていくための仕組みづくりを進めます。」とあります。学校はこれまで、地域と連携しながら教育活動に取り組んできました。今後は、学校支援センターの機能をベースに地域が学校や子どもたちを応援・支援するという一方の**関係から、地域と学校がパートナーシップに基づき双方向の関係になることがますます重要**になっています。

地域と学校の連携・協働に向けて「地域学校協働活動」を充実させましょう！

活動内容は地域の実情において様々です。例えば、放課後子ども教室に始まり、学校の授業支援や環境整備、登下校の見守り、放課後や土曜日の教育支援等、今、実施している活動を地域と連携しながら充実させていくことが大切です。そこで、今回は「地域と学校のパートナーシップ推進フォーラム」での事例発表から、学校と地域が思いを共有して取組を進めたことで、活動の効果が上がった事例を紹介します。



【事例1】 生徒の自主的な学習意欲の向上を目的とした放課後の学習支援教室



川場中未来塾



教師

地域の方が生徒個々の思いを聞き取って教えてくださるので、助かっています。私たちも学習プリントを用意するなど、できる限り協力しています。



学習支援員

生徒さんの思いを先生に相談しながら進めています。生徒さんとの信頼関係が築けてきましたので、徐々に地域に愛着をもって行ってほしいなと思います。私たちがやりがいを感じてやっています。



生徒

地域の人にヒントをもらい、分からないところが解けると自信につながります。毎回、参加して学力を伸ばしたいです。

地域学校協働活動を進めるための「場づくり」をしましょう！



地域学校協働活動の推進には、学校と地域が活動の目標やビジョンを共有する「場づくり」をすることが有効です。従来の地域と学校の連携体制を基盤として、より多くの幅広い層の地域住民、団体等が参画し、緩やかなネットワークを形成しながら、地域と学校がより良い関係を築けるような体制づくりを目指しましょう。

【事例2】 地域と学校が子どもの活動を情報共有する場



片品村地域学校協働活動運営協議会



校長

学校の行事に合わせて、子ども教室の活動日や内容を考えてくださるので、とてもありがたいです。



児童クラブ
指導員

活動を設定しても子どもがあまり参加しない……ということもありましたが、学校と情報を共有することにより、参加人数が増えました。また、子どもの取り合いにならないように、それぞれの団体が連携して一緒に活動することにより、活動内容が充実し、子どもたちも喜んで参加しています。



児童館長



教育委員会
担当

毎月末、話し合う内容を絞って短時間で実施しています。



放課後子ども教室
協働活動支援員

誰かが何とかしてくれる、のではなく、自分たちが『当事者』として自分たちの力で学校や地域を創り上げていく。子どもたちのために学校を良くしたい、元気な地域を創りたい、そんな思いをもちながら社会総掛かりによる教育を実現するために、地域学校協働活動を推進していくことが重要です。